

竹加工メーカーを地元商工会議所につなぎ、JAPANブランドに

会社名:株式会社 山岸竹材店 (高知県)

高知県須崎市において明治27年創業の竹細工の製造及び販売を行う会社。地域特産の虎斑竹を活用した竹細工などを用いた「竹のある暮らし」を提案。インターネット販売でも定評あるユニークな企業。

1. 相談のきっかけ

・高知県産業振興センター主催のインターネット通販の勉強会において、サブコーディネーターに対して、社長が「昨年、ニューヨークのデザイナーと接点があったので、これを機に竹製品の新しい価値を打ち出した」との相談をしたところ当拠点を紹介され来訪。

2. 課題整理・分析

- ・狙い
竹製品で海外市場をにらんだ戦略を描き、海外市場で通用するものを作る。
- ・強み
①伝統工芸品に認定され、かつ須崎市の独特な地域資源を生かす企業の商品として認知されている。
②ネットなどの分野において社長の人脈は広い。
- ・課題
海外展開のための資金力が乏しく、またリスクも高いため、円滑な海外展開のためには国の支援施策の活用が効果的と判断した。

3. 解決策の提案

「JAPANブランド育成支援事業」に申請・挑戦することを提案。
ただし、1社単独では応募ができず、かつ市内には竹細工の製造業者が1社しかないため、施策活用に向けた体制構築のための方策を、パートナー候補である関係機関を含め、具体的に助言するとともに書類整備に向け資料作りの方向性をアドバイス。
なお、パートナー候補となる須崎商工会議所に対しても会議所の経営指導員にJAPANブランド育成支援事業のメリットを説明。また、本事業を活用することに際してどのような地域間連携を組んだらよいかをアドバイス。



4. 成果

助言の結果、須崎商工会議所の経営指導員と社長の社長で課題抽出～戦略構築～実施計画作成に取り組むことで、補助事業の計画書を作成し、応募した。



その結果として...

平成27年度JAPANブランドとして正式に認定された。(H27.6)

(補助申請者:須崎商工会議所)

実施プロジェクト名:「虎斑竹(とらふだけ)の海外向け新商品開発および海外への販路開拓」



須崎市の地域資源を生かして、海外市場をにらんだブランド確立が強固なものとなった。
また、今後は認定されたJAPANブランドという特徴を打ち出して、海外市場進出の実現化が期待される。